

55年ぶり箱根へ！箱根駅伝予選会で総合6位



10月15日（土）、東京・陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～昭和記念公園において、箱根駅伝予選会が開催され、本学陸上競技部男子長距離パートは総合6位という成績を収め、大会史上最長の55年ぶりとなる復活出場権を獲得しました。



激走する内田選手、忠内選手。指示を送る上野監督。

箱根駅伝予選会は出場校の全選手がハーフマラソン（21.0975km）を一斉にスタートし、各校の上位10人の合計タイムで争い、上位10校が箱根駅伝本選の出場権を獲得します。43校が参加した今年の予選会は、3年振りに市街地を走るコース設定（陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園）で開催されました。

立教チームの上位10人は10キロ地点を3位で通過。その後も安定した走りを維持し、合計タイムは10時間46分18秒で総合6位、昨年16位から10ランクアップし、大会史上最長の55年ぶりとなる復活出場権を獲得しました。

なお、本学チーム内トップの國安広人さん（経営学部経営学科1年次）は、1時間3分13秒というタイムで個人21位に入りました。



（立教大学公式ホームページ掲載文章）